

博多湾環境保全計画(現行)における施策体系と策定以降の進捗状況

参考 2

対象範囲	施策	進捗状況
1 博多湾全域	(1) 下水道の普及	H26末 福岡市下水道人口普及率 99.6% (対H20末+0.1%)
	(2) 下水の高度処理(窒素・リンの同時除去)の推進	東部(H19～)、西部(H21～)、和白(H23～)、新西部(H26～)水処理センターの各1系列で、窒素とリンを同時に除去する高度処理を導入
	(3) 合流式下水道の改善	博多駅周辺地区の分流化 (H26末 進捗率85.7%) 天神周辺地区の分流化 (H26末 進捗率62.7%)
	(4) 生活排水対策の推進	合併処理浄化槽設置助成制度の開始(H25～)、浄化槽の適正管理の指導
	(5) 工場・事業場排水の規制・指導	水質汚濁防止法や下水道法等に基づく工場・事業場排水の規制・指導
	(6) 農畜産排水対策の推進	家畜ふん尿の適正処理の指導、ゴルフ場農薬調査の実施
	(7) 雨水の貯留・浸透機能等の向上	透水性舗装の実施(H26末累計 887,851m <sup>2</sup> )
	(8) 雨水、下水処理水の有効利用	公共・民間施設における雨水の有効利用(H26累計 147施設) 雨水貯留タンク助成制度、橋本車両基地での雨水利用・工場作業排水の再利用(H26実績 5,419m <sup>3</sup> )、広域循環型雑用水道 等
	(9) 海底耕うんの推進	能古、今津地先等で実施(H20～26:40ha/年)
	(10) 覆砂事業の推進	能古地区等で実施(H20～25累計 のべ約2ha)
	(11) 水辺空間(河川、ため池)の保全と創造	河川環境整備事業(江の口川、金屑川、若久川、水崎川、油山川) 治水池環境整備事業(久屋池、瓢箪池) 自然共生型ため池整備事業(観音ヶ浦池、山口新池、市作池) 等
	(12) 河川等の浚渫(しゅんせつ)・清掃	河川の清掃(那珂川、御笠川、博多川:H26実績 244t) 河川浄化報償金・治水池環境美化活動報奨金の交付 等
	(13) 漁業等による健全な物質循環の促進	海底ごみ回収(H26実績 180t) 栽培漁業推進事業(クルマエビ種苗等の中間育成や放流)
	(14) 漁場環境の整備	環境・生態系保全活動支援事業(ゴミやクロウニ駆除) 自然石による築いそ(H20～H25:のべ約6,000m <sup>3</sup> )
	(15) 海浜地および海水域の清掃	清掃船等による博多湾の海面清掃(H25実績 163t)、海浜地の清掃(H25実績 1,069t)、和白海域でのアオサ回収(H25実績 410t)、海底ごみ回収【再掲】 ラブアース・クリーンアップ事業
	(16) 生物生息環境に配慮した護岸整備	エコパークゾーン(塩浜地区)において遊歩道・植栽整備を実施
2 岩礁海域	(1) 藻場の保全・再生	藻場造成(クロメ種糸付ブロック沈設)、藻場再生(母藻の投入)
3 浅海域	(1) 東部海域における環境整備事業の推進	「エコパークゾーン環境保全創造計画」の策定(H22.3月) 野鳥の休息場(フロート)の設置(H21,22) 「和白干潟保全のつどい」の開催(意見交換、環境保全活動) 和白海域でのアオサ回収【再掲】、アオサ有効活用検討 エコパークゾーンの水域利用 等
	(2) 藻場の造成	シーブルー事業によるアマモ場造成(H20～26累計 のべ約6,000m <sup>2</sup> )
	(3) 南側沿岸部における貧酸素水塊の発生抑制	航路・泊地の浚渫土砂を有効利用した埋め戻しを実施(H23～)
4 干潟域	(1) 和白干潟保全活動の推進	「和白干潟保全のつどい」の開催(意見交換、環境保全活動)【再掲】
	(2) 今津干潟保全対策の推進	カプトガニ産卵場整備事業(H21～23:産卵場の養浜等) 里海保全再生事業(H23～)
5 港海域	(1) 親水空間の整備	エコパークゾーン(塩浜地区)において遊歩道・植栽整備を実施【再掲】
	(2) 海域清掃の推進	博多湾の海面清掃、海浜地の清掃、和白海域でのアオサの回収【再掲】
6 砂浜海岸	(1) 海岸清掃の推進	海浜地の清掃、ラブアースクリーンアップ事業【再掲】